立正大学同窓会　第８号
沖縄県支部会報



発効日令和８年 10 月 14 日
編集・発行沖縄県支部事務局
上江洲　薫

令和８年度立正大学沖縄県支部同窓会開催のご案内

立正大学同窓会員の皆様には、日々ご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。

さて、立正大学同窓会沖縄支部の総会・後援会ついて、下記のとおり開催致します。会員相互の親睦を深めて参りたいと存じますのでご参加下さいますようご案内申し上げます。なお、お気軽に下記の方にお問い合わせ下さい。

敬具

立正大学沖縄県支部同窓会
支部長　宜寿次　均

記

日　時：令和８年 11 月 29 日(日)17:00～
20：00（受付開始：16：30）
会　場：パシフィックホテル那覇　ワイケレルーム（注意：昨年と会場が違います）
講演会：17:00～17:40
講演者：佐喜眞道夫(立正大学大学院文学研究科史学専攻修了：佐喜眞美術館館長)
演題：(仮)佐喜眞美術館のあゆみ
総　会：17：40～18:00
懇親会：18:00～20:00、懇親会費 3,000 円
（懇親会費は繰越金が多いため 2023 年度より減額しています）
※離島および沖縄島恩納村以北在住の方を対象に、今年も宿泊交通費（5,000 円）を支給することにしました。

・問い合わせ先
事務局長：上江洲 薫(　　-　　-　　)
・今年度の年会費は、徴収致しません。
・見学研修会は 12 月 6 日日曜午前 11 時に宜野湾市にある佐喜眞美術館の入口に集合
無料：入場料 900 円は沖縄県支部で支払います。



（図出典：https://pacifichotel.jp/access/）

☆令和７年度立正大学同窓会沖縄県支部同窓会の内容

最初に、伊東政浩上人（琉球山法華経寺御山主：立正大学仏教学部卒）により、「終戦 80 年　立正平和の地平」をテーマに講演を行って頂きました。伊藤山主は全国日蓮宗青年会などの団体の会長や理事長を務めており、また、合氣道の師範でもあります。これまで多くの活動をかかわっており、慰霊の日には、法華経寺での法要後に行われる糸満市摩文仁の平和記念公園までの行脚は宗派を超えて青年僧を中心に行われいると述べられ、この他、昔の首里・那覇の地図からみる寺院、弥勒世果報やバチカンでの諸宗教対話などの取り組み、また、非行に走った少年少女などを受け入れ、共同生活を経て社会へ送り出す活動の説明もありました。

総会では宜寿次支部長の挨拶の後、令和６年度の事業報告・決算報告、令和７年度の事業計画と予算報告を行いました。特に繰越金が多いことやそれに伴い懇親会費や宿泊交通費の設定が決まりました。

令和７年度から副支部長に上原冨二男氏、代議員に新垣安男氏が就任しました。前副支部長の諸見里杉子氏と前代議員の久末磯也氏は地区幹事に、新たに渡具知武和氏が地区幹事に就任。







☆投稿「学びはいつか役にたつ」諸見里杉子幹事

文学部国文学科卒業の諸見里と申します。平成元年入学というだけでなぜかチヤホヤされたのも今は昔…懐かしい話です。

私が立正大学に進学を決めたのは、東京にある大学ということ。高校一年の時に放送コンテストを通じて朗読と出会い、声だけで表現する楽しさにまんまとハマり「一生この仕事をしたい」と決意しました。が、どうしたらいいかわからず「アナウンサーになったら叶うのでは」と、東京の大学への進学が当面の目標となりました。東京の大学に進学したと思ったら教養の１、２年は埼玉の熊谷市だったのは驚きました。それでも初めての寮生活、折々の仏教行事など他ではできない経験に、ホームシックとは全く縁のない熊谷ライフでした。3 年に進級し品川キャンパスに移ったところで、声優の大平透さんとの出会いがあり、ナレーターとしての活動が始まりました。といっても、私が卒業する年にバブルが弾け、好景気を実感することなく厳しい就職活動になりましたが、どうにかこうにか望む道(就職浪人しましたが)に一歩踏み出し、現在に至ります。

さて。大学卒業後に「もっと勉強しておけばよかった」と思うことはあるのではないでしょうか。ナレーターという仕事柄、文章に触れる機会が多いのですが、文章を書く側になったのは１０年ほど前。きっかけは父母の沖縄戦体験です。最初は証言集にしようかと思いました。しかし、楽しいことが沢山ある中、一市民の戦争体験に誰が関心を持つでしょうか。そこで小説…本当のことを含めた創作に取り組み始めました。ありがたいことにこれまで県内の文学賞で評価いただき、『骨董虹彩堂』が漫画化、『タクシーの花子さん』『最後の恋文』がラジオドラマになり多くの方に触れていただきました。ようやく国文学科らしいことになってきました。同時に「在学中にもっと勉強しておけば」と後悔もするのですが、当時学んだことが下地にあると感じることもあります。

今年、県のアーツカウンシル事業の採択を受け、24 年に新沖縄文学賞佳作を受賞した『ギンネムの記憶』を朗読し、YouTube で配信するというプロジェクトに取り組んでいます。ネット配信することにより、県内外…多くの方に触れてもらえるのではと期待があります。10 月 1 日から沖縄ボイスラボの YouTube チャンネルで配信しています。ぜひ聴いて、広めて頂ければと思います。



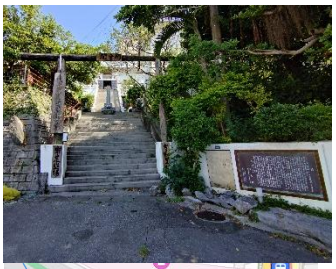
☆卒業生の活動

支部長の宜寿次さんが副会長を務める「**那覇大綱挽保存会**」の取り組みが新聞に掲載されました(夕方のテレビニュースにも)。那覇大綱挽まつりは 10 月 10 日から3日間行われ、10 日は伝統芸能ナイトパレード、11 日は松山交差点から泉崎交差点で大綱挽が行われる。

出典:2026 年 10 月 1 日付沖縄タイムス
(宜寿次支部長は右から2番目)

先日、琉球山法華経寺に行ってきました。

法華経寺の Web によりますと、「琉球山法華経寺は、日蓮大聖人 第七〇〇遠忌の記念事業で、日蓮宗が総力をあげて建立した開教寺院です。那覇市安里、沖縄戦の激戦地・シュガーローフの丘に、昭和56(1981)年開山。衆生救済と立正平和運動の拠点を目指し、沖縄全土を巡る慰霊活動、素行や人生に課題を抱える老若男女へ、心を整える場と機会を提供することに力を注いでいます」とあります。是非お立ち寄りください。









平成 18 年 6 月 23 日に建てられた「永村日鵬上人 顕彰碑」に鹿糠堯順元支部長の名前がありました。

※車でお越しの場合近隣の有料駐車場をご利用ください。

安里十字路

※諸見里幹事が中心となり、沖縄県支部のブログもあります。どうぞご覧下さい。
https://rsokinawasibu.ti-da.net/

※お尋ね:1973 年 3 月社会学科卒の具志幸子さんを、群馬県出身の柳沢和子(旧姓)さんが探しています。情報がありました事務局の上江洲まで。